

災害時の避難とは

霞学区 ○○町内会

作成 霞学区自主防災協議会

種類	避難規準	避難行動の手順（タイムライン）			
		警戒レベル	避難情報等（避難開始の目安）	意味	災害リスクと避難場所
洪水	右側の警戒レベルに 拠る 福山市の避難情報を 受け取って判断	1	早期注意情報（気象庁）		水害ハザードマップ 霞学区の浸水深は3m～5m 低リスクの場合はむやみに動かない ①立退き避難の場合 親戚、知人宅、ホテル、 行政の指定緊急避難場所 ②屋内安全確保の場合 自宅内で垂直避難 マンション等の高層階は在宅可
		2	大雨洪水高潮注意報（気象庁）		
		3	高齢者等避難（福山市）	災害のおそれあり 危険な場所にいる高齢者等避難	
		4	避難指示（福山市）	災害のおそれ高い 危険な場所にいる全員避難	
		5	緊急安全確保（福山市）	災害発生又は切迫	
地震		洪水と異なり、災害発生までのタイムラグがない。 まずは身の安全を図る行動。次に家屋の損傷や倒壊の状況をみて外に避難。避難前に火元を消す。その先は被害状況に応じた対応が必要。 ヘルメット常備 非常時持ち出し品の準備			広いスペースのある場所 ○○公園 ○○寺 市役所前緑地等 集まってくる人たちと情報交換、 安否確認等。
津波	南海トラフ地震 震度6弱	津波ハザードマップ 霞学区の浸水深は、0.3～2 m未満 避難行動の基本は洪水に同じ 福山市の考え方 北方向の津波浸水想定区域外や広域避難場所である福山城公園の方向に向かって避難することを基本 避難に遅れた住民や津波浸水想定区域外までの避難が困難な住民（避難行動要支援者など）は 霞小学校（津波避難場所）等の安全な場所に避難する。			

参考資料

内閣府HP 福山市HP 地域住民のための津波からの避難に関する手引き
水害ハザードマップ 津波ハザードマップ
その他